

# まほら

平成二十五年は、第二祖日向聖人の七百遠忌です

題字・持田日勇實首現下

第26号

発行日 平成23年8月1日

発行所 千葉県茂原市茂原1201  
日蓮宗東身延 本山蘿原寺  
TEL 0475-22-3153  
発行責任者：増田 寶泉 総務執事

## 掲示板

# 日蓮大聖人大銅像建立 浄財勧募中



日蓮大聖人の大銅像を建立致します。

当山の檀信徒並びに

各寺院の御住職、檀信徒の皆様方、

銅像建立に賛同していただける方々の

ご協力を心よりお待ちしています。

お早めにお申し込み下さいますよう

お願ひ申し上げます。

## 貴様のお言葉

オラトリオ日蓮聖人の

上演について



その後一回も再演されおりません。私はその時の責任者でありましたので、かねがね再演したいと考えていました。一大決心をして門祖日向聖人の第七百遠忌の記念行事の一つとして平成二十五年十月六日（日）に自主公演することにいたしました。

幸い、茂原市に茂原交響楽団が存在することを知り、第十七回ファミリーコンサートを聴きに行って、卓越した技能に深い感銘を受けました。

早速、事務局長の黒萬原守氏に連絡を取つたところ、教育委員会生涯学習課の藤井裕喜課長を紹介され、お力添えをいただいて、指揮者の土田政昭先生、団長の佐藤敏裕氏にお目に掛かり、団員の方々のお話し合いの結果演奏してくださることを了解いただきました。合唱団につきましても、茂原市音楽協会の大柿憲司氏から茂原混声合唱団「四季」の存在を知り、第十八回定期演奏会を開きに行ってファーモニーの見事さに心を動かされました。

「オラトリオ日蓮聖人」は詩人の西川渡氏の作詞に、日本を代表する音楽家篠原邦氏が作曲したものであります。

昭和五十七年四月二十二日に新宿文化センターを会場として佐藤功太郎氏指揮のもと、東京交響楽団と東京混声合唱団により演奏されました。

「オラトリオ日蓮聖人」は

第一部「海」①誕生、②立志、③開宗  
第二部「花」④折伏、⑤煩惱、⑥合戦  
第三部「光」⑦練習、⑧寂光、⑨降星  
第四部「雪」⑩配所、⑪開闢、⑫赦免  
第五部「山」⑬尊定、⑭勵行、⑮入滅

からなる一時間半の合唱交響曲です。

楽譜は一応保管されてあつたのですが、肝心要の指揮者用の楽譜が無くなっています。各パートの楽譜を集めて新しい楽譜を作る為に洗足学園音楽大学・大学院客員教授兼尚美學園大学講師の安彦（あひこ）晋博先生に編曲を依頼しております。

初演から二十九年経っておりますし、佐藤邦先生も佐藤功太郎先生もなくなっていますので、手探りの状態で実現の為に努力しております。

楽譜が完成したらそれぞれのパートに配って練習して頂くことになりますが、そこで楽団員、合唱団員の人数の補充を確保しなければなりませんし、オラトリオに必ず必要な語り手（ナレーター）と男女の独唱者の依頼はこれからです。

多くの人々のお力を借りて素晴らしい演奏会を開きたいと思っております。ご協力をお願いいたします。

# 行事記録

## 花祭り

(平成二十二年四月三日)

お祝いの誕生日を祝う花祭りが  
今年も行なわれ、二十一名のお稚  
児さんが参加しました。



积尊降誕会の様子

肌寒い中、大堂前で記念撮影の  
後、音楽市＆フリーマーケットが  
行なわれている境内を抜けて茂原  
公園を練り歩きました。その後、  
大堂にて「积尊降誕会」が行なわ  
れ、参加したお稚児さんの発育増  
進が祈願されました。



ブーケ・ドゥ・トンの演奏

演奏会

今年は、フルート、バイオリン、  
チエロ、チェンバロによる室内楽  
「ブーケ・ドゥ・トン（音の花束  
アンサンブル）」の演奏会が仏殿で  
行なわれ、そのやすらぎの音色に、  
参加した聴衆二百三十人は魅了さ  
れました。

また仏殿前の参道には、カフェ  
を通して社会とお寺、人と仏法を  
繋ぐことを目的とするロータスカ  
フェが出店し、おいしいコーヒー  
が参加者に無料で提供されました。

## お題目初唱会

(平成二十三年五月十四日)

今年で十回目となるお題目初唱  
会、今年も慈源寺、妙源寺、實相  
寺、東光院、妙楽寺、妙私寺、正  
蓮寺、本久寺の協力を受け約三百  
人の方々に参加をして頂きました。  
今回は東日本大震災の発生を受け  
て、「被災物故者の鎮魂と復興の祈  
り」をスローガンに、お題目初唱  
会と六回目となる日蓮聖人お迎え  
時代、行列を行ないました。天候に  
も恵まれ、スローガンの書かれた  
横断幕を持ったボースカウトを  
先頭に行列が出発しました。



大多喜甲冑隊の方々

太鼓や笛が鳴り響く中、慈源寺を  
初めとした近隣寺院の万灯講が轍  
を振りながら茂原市内を練り歩き  
ました。また今回は大多喜城手作  
り甲冑隊の方々も参加し、今まで  
以上に華やかな行列となりました。  
行列は仁王門の前で左右に分か  
れ、お題目が鳴り響く中、須田五  
郎時忠公役の黒田隆夫さん、日蓮  
大聖人役の持田貫首様、当山開基  
齊藤遠江兼綱公役当山純代の安藤  
勝勇さんをお迎えしました。

その後雅楽の奏でる中、現当貫  
首持田日勇猊下を大導師に初唱会  
の法要が歎修され、日蓮聖人直筆  
の開堂供養御本尊が開帳されまし  
た。



仁王門前でのお迎え

慈照寺では東北地方で震災の被害を受けた日蓮宗の寺院復興の為、二百万円を寄附する予定です。檀信徒の皆様には八月末〆切で一千円の義援金の御協力をお願いしております。

すでにこの案内の通り、日蓮宗は、岩手県の

三間地方 宮城県の仙台地方 福島県の猪苗  
地方に約五十の寺院がありますが、その内全  
壇七ヶ寺、半纏四ヶ寺以上、その他の寺院も  
相当な被害を受けています。寺院の復興は太  
変なものであります。宗教法人に対する国家  
援助は原則として行なわれません。当山の壇  
信徒の皆様におかれましてはいろいろな機關  
を通じて呼びかけがあり、ご支援なさってい  
られる所存しますが、是非この援助にも御協  
力宜しくお願ひ致します。これは日蓮宗宗務  
院を通して被災寺院に送られます。

また毎月十一日の午後二時から五時における貢献現下を筆頭に街頭における義援金勧募の活動を開始致しました。

四月は茂原駅前で茂原市仏教会と柔和会の方々と共に勧募を呼びかけました。集められた募金は全額茂原市社会福祉協議会に寄附致しました。五月は常在講の方々と茂原駅前で、六月はアスモに場所を移し総代、世話人

の方々と活動致しました。五月から御座力して頂いた方々に薬院寺の瓦せんべいを差し上げました。六月二十七日に五月分と六月分を合わせた義援金(三二一、七二六円)を貢献下、安藤純代、増田総務と田中豊彦薬院市長に届けました。今後とも御協力宜しくお願い致します。

末日奉大震災義長援金寄付者名簿

日蓮宗寺院復興並檀信徒教説の義理金に御協力  
いたたひ、ありゆふべくおこなつた。

(平成二十三年七月二十一日現在)

一五七申  
万万万达  
円円円金

第 2 章 亂世 賽局 舊聞 新聞

芳子 勇夫 子殿 殿殿殿殿殿殿殿殿  
多子 殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿  
伊三郎 富士 静子 壮士 殿殿殿殿  
澤伊三郎 宣富士 静子 壮士 殿殿  
藤井 梨子 殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿  
澤伊三郎 立士 殿殿殿殿殿殿殿殿  
安藤 殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿  
高安 殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿

四千五百六千四百四十五

土橋功佐横中石秋横横横鉢堀竹白佐金青渡鎌山室皆松本成寺坪簡田關市  
谷刀藤田込井葉堀堀堀田口内井藤坂谷邊田田井川本田田田井井中谷東  
喜福政す崇美勝芳正浜鐵雅勝光二美芳泰英哲和幸憲金今芳廣  
よ子一男信子浩江廣江基一夫史利一夫子守郎夫資榮力也久夫司洋重子夫明  
殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿

木金金加片片大大櫻梅鶯鶯鶯今今伊伊伊伊泉石安安青弓林楨鉢細花  
鳴坂坂藤岡岡和崎本崎澤沢沢沢閑閑井井東東蘿蘿藤藤柳削と堀田矢澤  
利幸安フ千修久裕と幸ぎ利良喜雅武久誠寿静良興正安博しせ咲  
美夫子サ恵一子幹し朗ん平子子孝人雄一雄子江弘一幸司彦子子い枝滋久  
殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿

中富處遠常塚田田高高早白白正正椎椎佐佐齊齊齋齋小駒小小河河熊  
村塚美山泉本中中派橋田井井林林野名吉川藤藤藤守野林櫻野野切  
佐敬一智ヤ博義幸俊正恵忠一治康三四正裕成永安政和武国政榮悟幸和  
祐子司枝子子志正之夫巳護江雄郎定男子勝子巧き正保正子男姓雄一郎勇夫  
殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿

合計金額

六十五万五千円

渡山山安安宮皆綠三御松松松松松松松林野野  
豐田田川川内川川十須本本本本本本崎崎口  
大信哥英善富勝和尾博喜照太啓一基修露  
加彦栄志雄夫博夫健子優郎子郎子郎之弘子和  
殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿

藤原寺書道研修会案内

毎月二回、第一、第三日曜日

午後二時～四時

月謝五千円

門祖日向聖人第七百遠忌

記念事業概要

平成二十五年十月三日(木)

日向聖人第七百遠忌音楽大法要 於 大堂  
大導師 身延山法主 内野日絶猊下

平成二十五年十月五日（土）

講演會  
第一部 東京大學教授 箕輪顯量先生  
「日本佛教の特色と将来」  
第二部 千葉大學名譽教授 佐藤博信先生  
「茂原地域における法華信仰の展開」

平成二十五年十月六日(日)

音楽会 於 茂原市民会館  
オラトリオ日蓮聖人

演奏 茂原交響樂團  
指揮 土田政昭氏  
合唱 茂原混聲合唱團  
指揮 中川知夫氏

記念出版  
「藤原寺宝物目録」の発行

曰蓮大聖人銅像寄附奉納者一覽

日蓮大型人銅像建立の寄附に御協力いただきありがとうございました。  
今後とも御協力宜しくお願いいたします。 (肩書きのないのは当山檀信徒です。)  
(平成二十三年七月二十七日現在)

申込金額	三千万円	六百万円	三百万円	百五十万円	百二十万円	百万円	六十万円	五十五万円	五十万円
久遠寺法主	本久寺住職	妙安寺住職	妙行寺住職	妙安寺住職	輪壽寺眞宣	光明寺住職	大圓寺住職	大法寺住職	本成寺住職
本久寺住職	妙行寺住職	光明寺住職	輪壽寺眞宣	大圓寺住職	大法寺住職	本成寺住職	妙安寺住職	久遠寺法主	妙源寺住職
久遠寺法主	妙行寺住職	妙安寺住職	本久寺住職	輪壽寺眞宣	光明寺住職	大圓寺住職	大法寺住職	本成寺住職	妙源寺住職
本久寺住職	妙安寺住職	妙行寺住職	久遠寺法主	輪壽寺眞宣	光明寺住職	大圓寺住職	大法寺住職	本成寺住職	妙源寺住職

小石鈴正関電池堀丸富松豊田井錦秋安白高匿金山吉大松鎧寺安持内芳  
林川木林谷上口永本田中上田葉藤井梨名坂田田谷本田田藤田野  
頑賢富四嘉賀久太淳茂慈昌文瑞謙勝静佐富希一道文覺哲泰憲轟貫日  
光作夫郎一省子平一子恵樹教雄二廣男市子望郎子堯子也夫司勇信總  
殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿

玄妙寺住職  
本光寺住職  
福禱

市佐齋後小国河黒熊久鬼川川金鹿櫻江内鷦岩伊市板石石石石足權野渡  
東藤藤藤梶藤野田切我島島崎坂島本川川沢本藤山原井井立信田達  
廣二千榮幸百和明な鶴き幸史と好尚恒俊一代友靜高美國初徒公寛一  
明夫齊代一正勇代夫美か寿よ夫子し昭彦夫子平葉子雄子美栄子美代中英之  
殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿

十五万日元

本覺寺住職  
泰福寺住職  
玉泉院住職

本久寺

小小花藤鬼井影松松弓鎗鎗安松松室丸本堀藤久林芳野中中中鶴筒高関  
林栗や井島上山木木削田田川本本井 田口井野 賀澤村西島岡井樺谷木  
政次 敏智日信祥祥博咲鉄善 一 純和雅勝和修文 光榮正 金廣芳時  
雄 雄子宏雄覺憲子枝夫雄優郎栄也久史政夫弘雄雄男次義朗重史夫男  
殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿

三 千 合 二 万 八 千 八 百 一 万 二 万 三 万 五 万  
四 円 九 十 九 十 九 十 九 十 九 十 九 十 九 十 九 十 九

吉田法衣店	蓬城寺住職
芦川表具店	石宏堂
辯喜士典札	田中
旭和木工所	大原
円成寺住職	長福寺住職
坪尾会計事務所	円成寺住職
蒸流步	長福寺住職
鏡済寺檀徒	圓成寺檀徒
円成寺檀徒	円成寺檀徒
円成寺檀徒	円成寺檀徒
円成寺檀徒	円成寺檀徒
參拜者	參拜者
計金額	九千

七  
十 齐吉山遠東關佐塚大秋山押廣佐工内堀前野鶴石協富芦石山戸伊吉小佐  
七 野越山俊谷藤本原英仲尾島藤山越沢口澤塚和典川合本村藤田川木  
万 藤英信ツ秀夕政満節直敏文桂光顯信武木礼表ウ政廣規榮  
三 ヤ知工茂具メ子微義郎  
千 雄行子孝ケ信子子美信晃瑛子枝新秀仁和夫志所店宏子子子微義郎  
円殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿

## 身延山務務井上日修祝下山

去る五月二十日、身延山務務井上日修祝下山が来山されました。当山で計画している日蓮聖人大師像建立の為の寄付金を、總本山身延山久遠寺を代表してお届け下さいました。

貫首猊下始め總代一同でお出迎えしました。又、井上猊下自身が住職をされている本山瑞輪寺として、百万円のご寄付を下さいました。大変ありがとうございます。この事業に總本山久遠寺様が率先して支援して下さるとは大変勇気づけられます。

佐藤ゆかり・猪口邦子両参議院議員が薬原寺に来山

七月二日午後、佐藤ゆかり・猪口邦子両参議院議員が日蓮宗教務部長、塙崎望巳上人と共に持田貫首様を表敬訪問されました。

お二人とも日蓮聖人に対する熱烈な信仰をお持ちで新しい社会を築く為に日夜精進しておられます。



## 行事案内

## 新山務員紹介

八月十五日（月） 九時

盂蘭盆施餓鬼会

九月二十四日（木） 十時

川越施餓鬼会

九月二十二日（金） 十時

秋季彼岸会

十月一日（土）

十六時

宗祖御更衣式

十月三日（月）

十一時

向尊殿大祭

十月十六日（木）

十時半

報恩堂秋季大祭

十一月十二日（土）

十七時

お会式

## 奉納

持田貫首様を始めとして先輩上人から日々ご指導頂くことなどを自身の糧にして、僧侶の生き方を身につけたいと思います。僧侶としても社会人としても駆け出し者であります。到らぬ事が多々あるかとは思いますが、一杯精進して山務させて頂きますので、今後とも宜しくお願ひ致します。合掌

○總代・世話人会  
○松本哲也様  
○石井佐様

○般若日蓮聖人像台座  
足袋沢山  
墓参用バケツ沢山



本年三月三十日より本山に山務させて頂いております、富永一真と申します。山武市成東にあります本行寺から参りました。

本年三月に立正大学仏教学部宗学科を卒業し、二級があつて本山薬原寺に務めさせて頂くこととなりました。

朝勤に始まり法要や行事そして事務など、寺院運営に必要な様々なことを豊富に経験させて頂ける本山薬原寺は、私にとって最良の修行の場であると感じています。

持田貫首様を始めとして先輩上人から日々ご指導頂くことなどを自身の糧にして、僧侶の生き方を身につけたいと思います。僧侶としても社会人としても駆け出し者であります。到らぬ事が多々あるかとは思いますが、一杯精進して山務させて頂きますので、今後とも宜しくお願ひ致します。合掌